

「幼児と人間関係」 確認しよう 1

領域「人間関係」の「内容」をよく読み、①～⑬それぞれで「期待されること」、「保育者の役割」をまとめてみましょう。

① 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう

- ・期待されること

- ・保育者の役割

② 自分で考え、自分で行動する

- ・期待されること

- ・保育者の役割

③ 自分でできることは自分でする

- ・期待されること

- ・保育者の役割

④ いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ

- ・期待されること

- ・保育者の役割

⑤ 友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う

- ・期待されること

- ・保育者の役割

⑥ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く

- ・期待されること

- ・保育者の役割

⑦ 友達によさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう

- ・期待されること

・保育者の役割

- ⑧ 友達と楽しく行動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする
・期待されること

・保育者の役割

- ⑨ よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する
・期待されること

・保育者の役割

- ⑩ 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ
・期待されること

・保育者の役割

- ⑪ 友達と楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする
・期待されること

・保育者の役割

- ⑫ 共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う
・期待されること

・保育者の役割

- ⑬ 高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ
・期待されること

・保育者の役割

「幼児と人間関係」 確認しよう 3

5. 「4-4 乳児と人との関わり」の内容に基づき、(1)～(4)それぞれに関する「発達の特徴」と「保育者として心がけるべき事項」を述べなさい。

(1)・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(2)・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(3)・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(4)・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

「4-5 幼児（1～3歳のころ）と人との関わり」の内容に基づき、(1)～(4)それぞれに関する「発達の特徴」と「保育者として心がけるべき事項」を述べなさい。

(1)・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(2)・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(3)・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(4) ・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

6. 保育の現場における「4-6 保護者への対応」として重要な事項を挙げなさい。

7. 「5-2 3歳児の人と関わりと保育者の援助」の内容に基づき、(1)～(3)それぞれに関する「発達の特徴」と「保育者として心がけるべき事項」を述べなさい。

(1) ・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(2) ・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(3) ・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

8. 「5-3 4歳児の人と関わりと保育者の援助」の内容に基づき、(1)～(2)それぞれに関する「発達の特徴」と「保育者として心がけるべき事項」を述べなさい。

(1) ・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

(2) ・発達の特徴

・保育者として心がけるべき事項

9. 「5-4 5歳児の人と関わりと保育者の援助」の内容に基づき、(1)～(2)それぞれに関する「発達の特徴」と「保育者として心がけるべき事項」を述べなさい。

(1)・発達の特徴

- ・保育者として心がけるべき事項

(2)・発達の特徴

- ・保育者として心がけるべき事項

(3)・発達の特徴

- ・保育者として心がけるべき事項

10. 保育の現場における「5-5 保護者への対応」として重要な事項を挙げなさい。

11. 愛着の発達に基づき、「6-4 保育と愛着」の(2)「安心の輪」を心がけて を参考に、保育現場における保育者の役割をまとめなさい。

「幼児と人間関係」 確認しよう 4

1. 「7-1 子どもの自立心」の内容に基づき、非認知能力とはどのような能力であるかについて、特に「(2) この時代にとくに必要とされる非認知能力と自立心の関係」で汐見の挙げた3つを取り上げ、その概要とその結果として期待される発達を簡潔に説明しなさい。

(ア) ・概要

・期待される発達

(イ) ・概要

・期待される発達

(ウ) ・概要

・期待される発達

2. 「7-2 自立の種類」の内容に基づき、幼児期に育まれた自立心は、小学校以降どのような発達と関連すると考えられるか。「(2) 小学校教育へつなぐアプローチカリキュラムの視点から考える」に挙げられた学びの自立、生活上の自立、精神的な自立の3点についてそれぞれの概要と小学校との関連を簡潔に述べなさい。

(ア) 学びの自立

・概要

・小学校との関連

(イ) 生活上の自立

・概要

・小学校との関連

(ウ) 精神的な自立

・概要

・小学校との関連

3. 「7-2 自立の種類」における「(4) 保護者との連携」の内容に基づき、子どもの自立心を育む上で、保護者が心がけるべき事項を簡潔に述べなさい。

4. 「8-1 自我の発達と人との関わり」における「(1) 子ども自身の存在感」の内容に基づき、園生活で子どもに育てたい「自己の存在感」とは、どのようなものか。また、その基盤となるものはどのようなことか。また、養育者や保育者が留意することはどのようなことか。津守の説明を参考にして簡潔に述べなさい。
 - ・自己の存在感とは

 - ・自己の存在感の基盤となるもの

 - ・養育者や保育者が留意すべきこと

5. 「8-2 自己主張と自我の芽生え」の内容に基づき、自己概念の発達において、乳児が何でも口に入れようとする行動にはどのような意味があるだろうか。簡潔に述べなさい。

6. 「8-2 自己主張と自我の芽生え」における「(3) 言葉による自己主張へ」の内容に基づき、言葉による自己主張が始まると、「イヤイヤ期」や反抗期との関連も深くなる。その時に見られる「揺れ動く自己」とはどのような状態か。事例5を参考にして簡潔に述べなさい。

7. 「8-3 自己発揮・自己抑制から自己統制へ」および「8-4 子どもの主体性・能動性を保障する保育者の関わり」の内容に基づき、3歳頃になると、子どもは自分のことを一人前に何でもできると「自信満々」に感じる時期があるという。その時に保育者が心がけるべきことを簡潔に説明しなさい。

「幼児と人間関係」 確認しよう 6

1. 「11-1 幼児期における道徳性の芽生え」の内容に基づき、幼児期に道徳性を身につける上でどのような体験が必要と思われるかをまとめなさい。
2. 道徳性の他律と自律の違いを簡潔に説明しなさい。次に、幼児期における道徳性の発達を踏まえ、保育者としてどのような関わりが求められるかをまとめなさい。
 - ・他律

 - ・自律

 - ・保育者としての関わり
3. 『11-2 道徳性の基本「人を大切にする」気持ちをほぐくむ』の内容に基づき、道徳性や規範意識の芽生えにつなげるために求められる保育者の対応をまとめなさい。
4. 「11-3 道徳性の芽生えをはぐくむために」の内容に基づき、いざこざや葛藤を経験することが、幼児の道徳性の発達においてなぜ重要といえるかをまとめなさい。

「幼児と人間関係」 確認しよう 7

1. 「12-1 コミュニケーションの理論」の内容に基づき、①非言語的コミュニケーションと②言語的コミュニケーションにおけるそれぞれの特徴と子どもの発達との関係をまとめなさい。
 - (ア) 非言語的コミュニケーション
 - ・特徴

 - ・子どもの発達との関係
 - (イ) 言語的コミュニケーション
 - ・特徴

 - ・子どもの発達との関係
2. 「12-2 子ども同士のコミュニケーション」の内容に基づき、子ども同士の遊びの場面における保育者として求められる役割をまとめなさい。
3. 「12-3 コミュニケーション能力を育てる保育者の関わり」における「(1) 保育者の聴く力」の内容に基づき、保育者が子どもの話を聴く場合に心がけるべきことを述べなさい。
4. 「12-3 コミュニケーション能力を育てる保育者の関わり」における「(2) 保育者と子どもの温かな関係」の内容に基づき、子どもが安心して園生活を送りながら成長していくために必要な保育者の姿勢をまとめなさい。

5. 「12-3 コミュニケーション能力を育てる保育者の関わり」における「(3) 一人ひとりを生かす学級経営」の①～③の内容に基づき、子どもたちが自分も他者も理解しながら園生活を送る上で保育者に求められる役割をまとめなさい。

(ア) 子どもの行動を言語化する

(イ) みんなが発言できる学級

(ウ) 異文化コミュニケーション

6. 「12-3 コミュニケーション能力を育てる保育者の関わり」における「(4) コミュニケーションがとりにくい子どもとの関わり」の内容に基づき、保育者として心がけるべき点をまとめなさい。

7. 「12-3 コミュニケーション能力を育てる保育者の関わり」における「(5) 保育者と保護者の関わり」の内容に基づき、保護者に対応する際に心がけるべき点をまとめなさい。

「幼児と人間関係」 確認しよう 8

1. 「13-1 個と集団の関連」における「(1) 子どもにとっての集団とは」の内容に基づき、①学級集団と②与えられる集団、③遊び集団におけるそれぞれの子どもの発達の特徴をまとめなさい。
 - (ア) 学級集団
 - (イ) 与えられた集団
 - (ウ) 遊び集団
2. 「13-1 個と集団の関連」における(2)～(4)の内容に基づき、教育における集団の意義を達成するために保育者に求められる姿勢、および子ども同士のやりとりで期待される事柄をまとめなさい。
3. 「13-2 協同性をはぐくむ」の内容に基づき、子どもの協同性を育む上で保育者に求められる役割をまとめなさい。
4. 「14-1 保護者との関わり」の内容に基づき、保護者にとってもよりよい園になるために求められる事柄をまとめなさい。
5. 「14-2 保育者同士、同僚との関係」の内容に基づき、特に子どもたちの人間関係を育み、専門性を高める上で求められる同僚としての保育者同士の関係性をまとめなさい。
6. 「14-3 幼児の関わりを広げる地域との関わり」の内容に基づき、地域の子育てネットワークの拠点として園が取り組むべきことをまとめなさい。